

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年四月度 入選句（投稿総数八百七十七句・一般投句数六百二句）

特選

青き踏むけふより兄となる二歳 岐阜市 小湊 順子

踏青は、春の野辺に出て青々と萌え出た草の上を、そぞろ歩きしたり散策をすること。
今日、弟か妹が生まれるであろう二歳児を外に連れ出し散歩に出かけた。いままでとは違った生活になることを思い、この子と赤子の健やかな成長を願ふ。
青き踏むで希望がみえる。

春うれひまるくまあるく地藏書く 大垣市 吉田 てるみ

春愁は、心浮き立つ春のひとつときの中、ふと感じるもの悲しさ、そこはかとなひ淡い思いなどの気分を言う。そんな時は自分の好きなことに没頭すれば、気分は落ち着くものだ。
写経や仏画を描くことは、とてもよいと思う。まあるく仏を描いて心も、まるくなった。

活断層覚まさぬように畑を打つ 大垣市 棚橋 みさを

畑打は、春になり種蒔に備えて畑を耕すこと。
活断層は過去にずれたことがあり、将来も活動する可能性がある断層。
日本中どこにでもあると言う。今回の熊本県の地震は、この活断層が多きく東西にずれて発生した。
畑を打つ程の力では影響は無いだろうが、そこをオーバーに言い俳味のある作品となった。

秀逸

何もせぬ一と日に疲れ宵の春 養老郡養老町 田中 秀子

春禽の光となりて消えゆけり 大垣市 新町 恵子

七人の敵に強がり四月馬鹿 岐阜市 堀江 美州

轉りの真つ只中よ塩むすび 大垣市 田中 雅子

それぞれの春の闇へと深夜バス 大垣市 佐藤 すみ子

母の歩に合わせる歩幅梅日和 大垣市 鶴田 信子

一族の先頭を行く新入生 東京都世田谷区 関戸 信治

自転車に乗れた少女や風光る 大垣市 宮上 美濃留

長靴を両手に下校春の泥 静岡県藤枝市 山本 紫苑

初蝶やおん目細めて道祖神 愛知県豊田市 城山 憲三

入選

一族の眠る里山涅槃西風
桃の花稚ふつくらと眠りをり
春慶の盆に和菓子や花の雲
罇の森へかけこむかくれんぼ
ロボットに呼び止められて四月馬鹿
養花天湖にゆるりと鳶の笛
京ひだり右は江戸なり花の辻
城壁に化石を探す春うらら
川幅に収まり切らぬ桜かな
夜学生の踏む自転車や星おぼろ

養老郡養老町	田中	秀子
兵庫県宝塚市	土井	純子
福井県敦賀市	山田	美千代
大垣市	棚橋	みさを
大垣市	末守	節子
大垣市	森川	きよ子
大垣市	臼井	秀子
大垣市	久保田	悟義
愛知県豊橋市	廣中	雅子
安八郡輪之内町	野村	照子

入選

初燕山家に風のとどく刻
多く出ぬ乳吸い続け夏近し
船頭のときに反り身や花見舟
二歳児が両の手広げ春抱けり
ブランコの順番まで泣き出す子
手つかずの土筆厨に夕餉かな
暁闇の沖に漕ぎ出づ蜆船
暫くの留守を頼みし内裏雛
手に受けて土のこぼるるふきのたう
少年の髭なほ薄し亀の鳴く

大垣市	坪井	克枝
京都府宇治市	中村	広美
大垣市	日比野	友子
岐阜市	小湊	順子
大垣市	浅野	亨
神奈川県座間市	桑野	岡二
三重県四日市市	後藤	允孝
愛知県岡崎市	鈴木	正紘
揖斐郡揖斐川町	栗野	みねお
愛知県名古屋市	岩田	勇

選者吟

飛花落花十万石の天守閣

武直